

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書（実績）

提出区分		実績	整理番号	2	課題区分	C
横断的な課題		人々を呼び込む魅力的な地域づくりの推進				
地域重点政策		ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる				
実施機関		長野地域振興局企画振興課			担当課	所属
事業名		移住希望者等向け管内魅力情報発信の充実事業			電話	長野地域振興局企画振興課
					E-mail	8-245-2108
		nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp				
事業の概要	目的 (目指す姿)	しあわせ信州創造プラン3.0長野地域計画における長野地域への移住者数目標達成に向けて、管内市町村と連携して圏域の情報発信やPRを推進する。				
	現状と課題	2024年度の管内移住者数実績は504人であり、しあわせ信州創造プラン3.0長野地域計画における2027年度目標450名を超えた。ただし、信州未来創造戦略では、2030年に目指す旗として全県での移住者数を年間10,000人以上としており、さらなる圏域への移住者等の呼び込みが必要。移住希望者等が長野地域を安心して選べるよう、地域内の各市町村、圏域全体の情報発信のさらなる充実を図る必要がある。 現在、長野地域振興局による移住等希望者向け情報発信として、長野地域振興局ブログ(ほっと9ながの)で、管内9市町村の移住者に対するインタビュー記事を掲載している。これらの記事は掲載が令和元年であり、令和5年から5市町村の記事を更新した。リモートワークの普及、コロナ禍での地方回帰等、最近の社会情勢変化は著しいため、より新しく、鮮度の高い情報を、移住希望者などに届ける必要がある。 また、当地域振興局では、令和4年度に移住『虎の巻』を制作し、移住者向けの情報を総合的に発信するツールとしている。『虎の巻』は管内市町村や銀座NAGANOでの配布をはじめ、活用機会も多く好評だが、制作から時間が経つことで、情報の目新しさは低下している。地域への移住者数は年々増加しており、より新しい情報に更新する必要がある。				
	内容 (変更後の内容)	【移住者へのインタビュー発信事業】 令和7年11月までに千曲市、小布施町への移住者各1名(1世帯)へインタビュー取材を実施する(インタビューの対象は各市町より推薦してもらう)。取材内容を踏まえ、各市町の地域の特長や環境、暮らしなどを移住者の視点から発信するインタビュー記事に取りまとめ、順次、長野地域振興局ブログ(ほっと9ながの)で発信する。 【移住『虎の巻』リニューアル事業】 移住『虎の巻』について、掲載コンテンツ等を一部リニューアルする。地域への移住者や地域おこし協力隊員等と、掲載内容や構成等に関する意見交換の場を設け、より移住者に近い視点でのリニューアルを図る。				
	事業期間	令和7年7月 ～ 令和8年3月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額	備考
	移住者へのインタビュー発信事業		謝礼		40,000	20,000円×2名(世帯)
	移住『虎の巻』リニューアル事業		リニューアルに係る業務委託費		506,000	
	移住『虎の巻』リニューアル事業		アイデア会議参加者謝金		20,000	2,000円/人×10人=20,000円(クオカード)
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況
	移住『虎の巻』リニューアルに係る意見交換でのアイデア発案数			10案	40案	○ 達成
	記事掲載開始後30日間の閲覧数(1記事あたり)			300閲覧	未掲載	● 一部達成
						○ 未達成
事業実績・成果	【実績】 1 移住者へのインタビュー発信事業 以下の地域への移住者に対しインタビュー取材を実施した。 (1)千曲市 ・取材日時:11月13日 ・移住者属性 1ターン (2)小布施町 ・取材日時:1月9日 ・移住者属性 1ターン(地域おこし協力隊) 2 移住『虎の巻』リニューアル事業 (1)ワークショップ(意見交換)の実施 ア 日 時:12月24日、1月22日(長野合同庁舎) イ 対象者:管内市町村への移住者及び市町村の移住担当者(参加者24名) (2)移住『虎の巻』の更新 ワークショップで出されたアイデアを元に移住パンフレットを更新した。 【成果】 ワークショップには、管内の多くの市町村から参加があり、意見交換により(地域の魅力や暮らし方など)移住を検討している人が求める情報を地域毎に把握し、パンフレットに反映することができた。 記事掲載については、過去のブログの閲覧状況を鑑み、新たな情報発信ツールの検討を行うこととした。					
	今後の方向性	・移住の情報発信については、移住サイトへのアクセスのしやすさが課題となっており、様々な情報媒体からたどり着けるような入口を作ることが必要である。令和8年度には、「note」を活用し、移住者へのインタビューや、各自治体の移住施策など、より効果的な情報発信を行うとともに、移住サイトへの動線を構築することで、移住関心層が求める情報にアクセスしやすい発信を図る。 また、アップデートした移住『虎の巻』を多くの人の目に入るよう、関係各所に配置し、イベント等の資料としても積極的に活用する。				